

令和元年5月15日 公告分

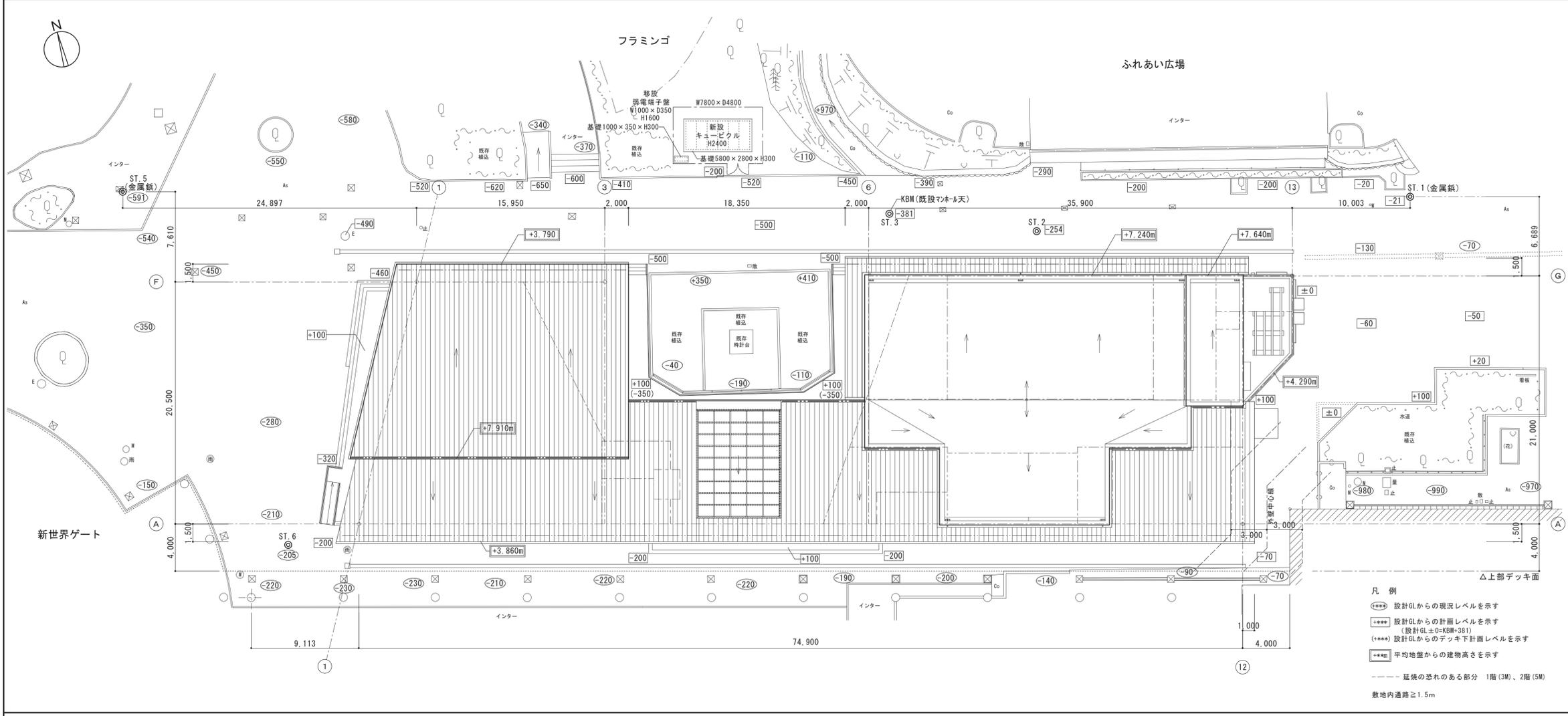
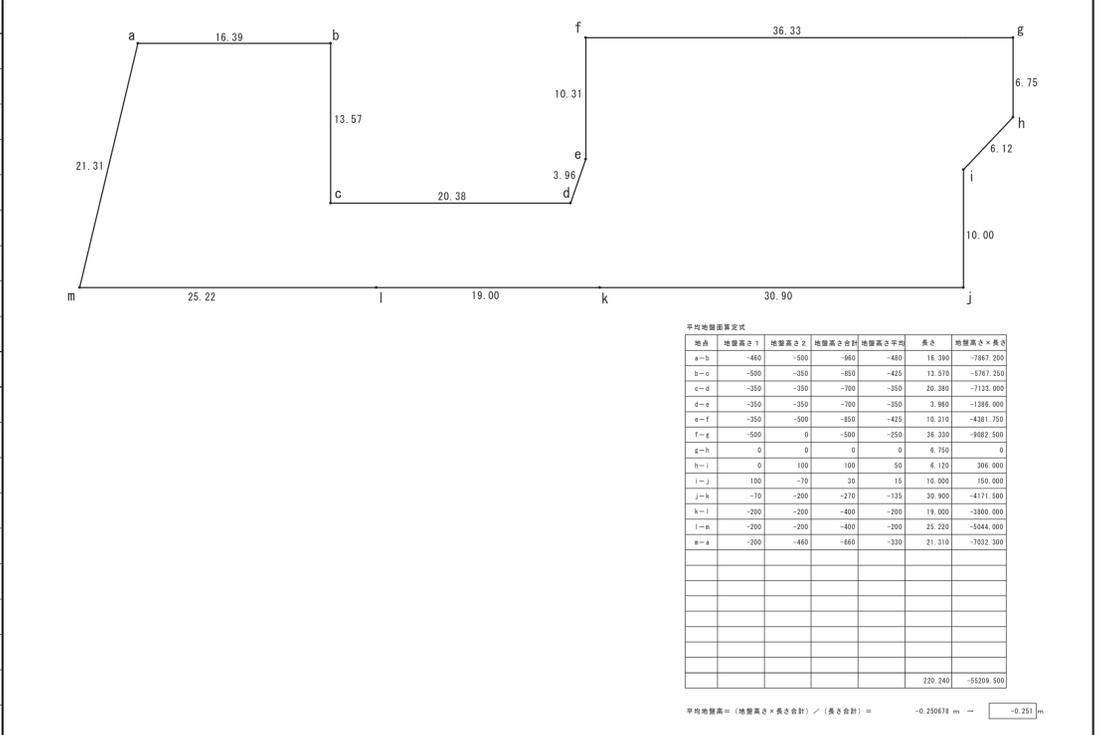
「(仮称)天王寺動物園教育普及関連及び休憩施設建設工事」

○設計図書の一部に表記誤りがありました。再度ご確認ください。

修正箇所	誤	正
図面番号 2 図面名称：案内図・工事概要・配置図 工事車両出入口及び経路の追記	図面のとおり	図面のとおり



敷地概要	
敷地面積	132,360.8 m ²
用途地域	第二種住居地域
区域区分	市街化区域
指定建ぺい率	80%
指定容積率	200%
防火地域	準防火地域
その他の地域	茶臼山風致地区
都市施設	天王寺公園 (都市計画公園・緑地)
建物概要	
建築面積	1,421.91 m ² (既存 14,042.47m ²) 【合計 15,464.38m ² 建ぺい率 11.69%】
延床面積	1,394.51 m ² (既存 15,972.78m ²) 【合計 17,367.29m ² 容積率 13.13%】
階数	地上2階建て
高さ	最高高さ 8.071m
構造種別	鉄骨造
用途	集会場・展示場・飲食店・物販販売業を営む店舗等
耐震安全性の分類	構造体：B種
	建築非構造部材：b種
	建築設備：b種



■一般事項

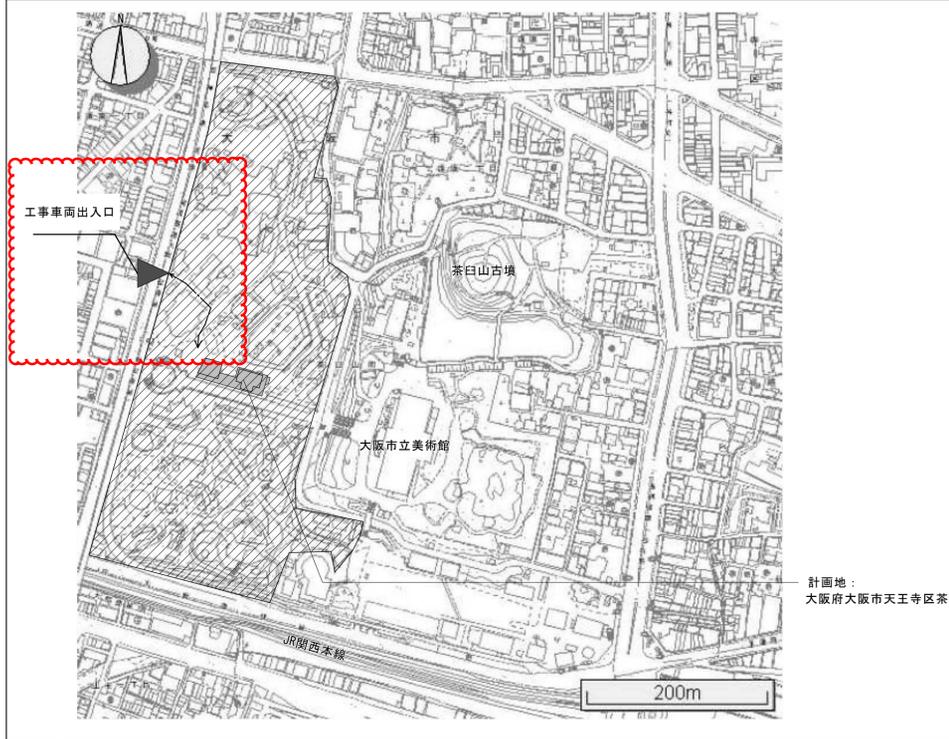
- すべての工事は設計図書に基づき施工し、疑義があるときは、本市監督職員と協議すること。
- 道路占用その他工事の施工に、必要な官公署その他の手続きは遅延なく行うとともに、これに要する費用並びに原形復旧は請負者の負担とする。
- 作業に先立ち設計図を熟読し不明点については本市監督職員と打合せを行い、作業に支障なきよう努める。
- 請負業者はその責任において、工事による危険防止に努める。
- 廃棄物は、関係法令を厳守し適切に処理すること。尚、敷地内では一切の廃棄物を焼却してはならない。
- 工事車両は場内清掃を行い、万一公道を汚した場合は速やかに清掃すること。
- 工事着手に先立ち、現場確認の上施工すること。
- 工事着手前に現場実測及び調査を行い、取合いなどの関係で設計図書によることが困難または不都合な場合は本市監督職員と協議のこと。
- 工事に伴うガラ等の撤去材は速やかに場外処分とすること。
- 工事施工に使用した進入通路、資材置場等の作業所内は現況に復旧して整地を行うこと。
- 本工程により破壊を生じた箇所は既存に倣い補修のこと。
- 足場は、転倒に十分注意して設置すること。
- 仮設工事をするにあたり、所轄官公署との打合せをすくと共に、第三者への安全に十分配慮した仮設計画を行うこと。
- 開園時間の工事車両等の進入は不可とする。
- 開園日の資材の搬出入は9時30分以前に行うか、17時以降に行うこと。
- 作業時間は、原則として9時から17時30分とし、その他は施設管理者と協議の上、決定すること。
- イベント等により作業に制約が出る場合があるので、作業工程については事前に動物園担当者調整すること。
- 動物園内を工事車両が通行するときは徐行すること。また、その際には警備員を車両に並走させ安全に努めること。
- 作業者は必ず腕章を付けること。
- 基礎工事は地中埋設物に十分に注意を払い行うこと。
- 工事車両搬出入経路は工事前に道路舗装の写真を撮ること。
- 再利用する仮設材は、使用前に安全確認を行うこと。

凡例

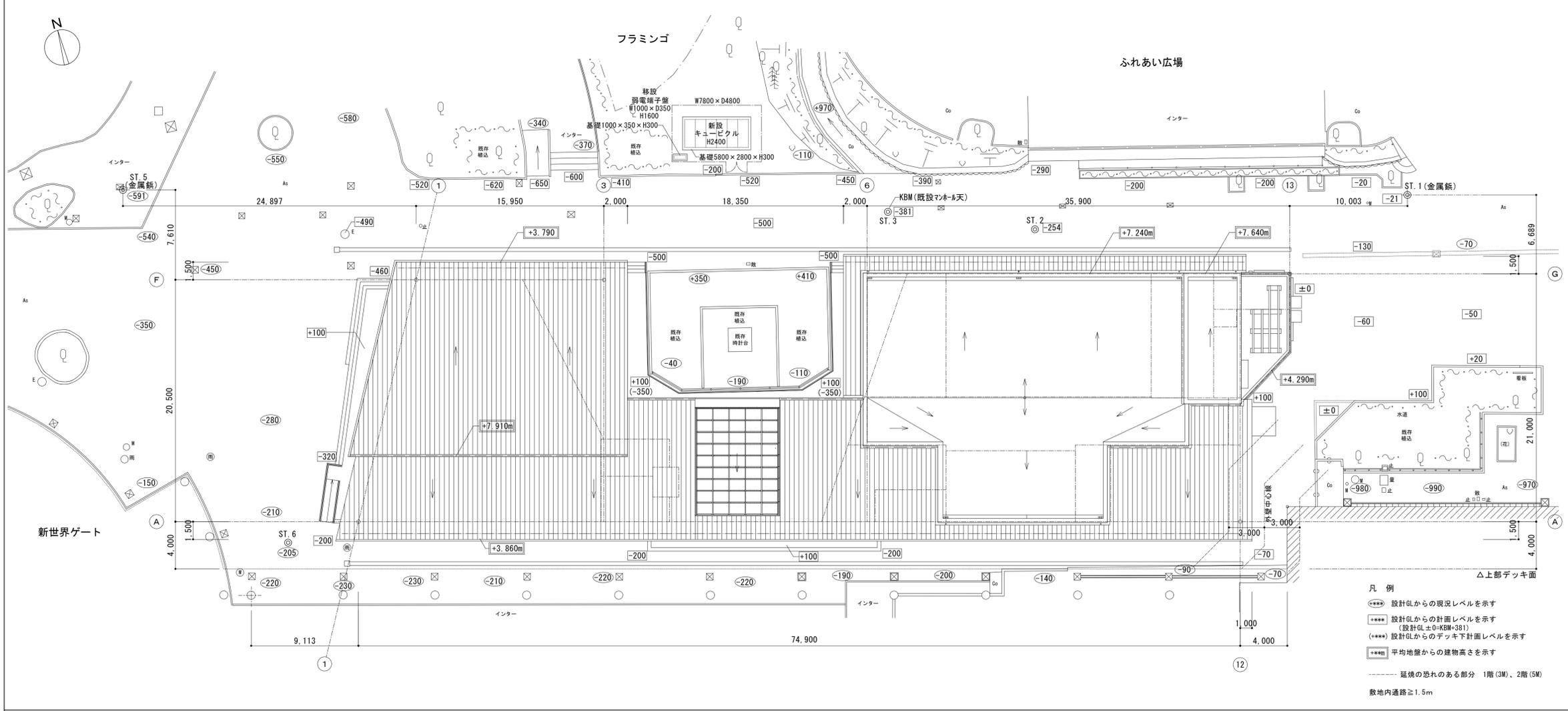
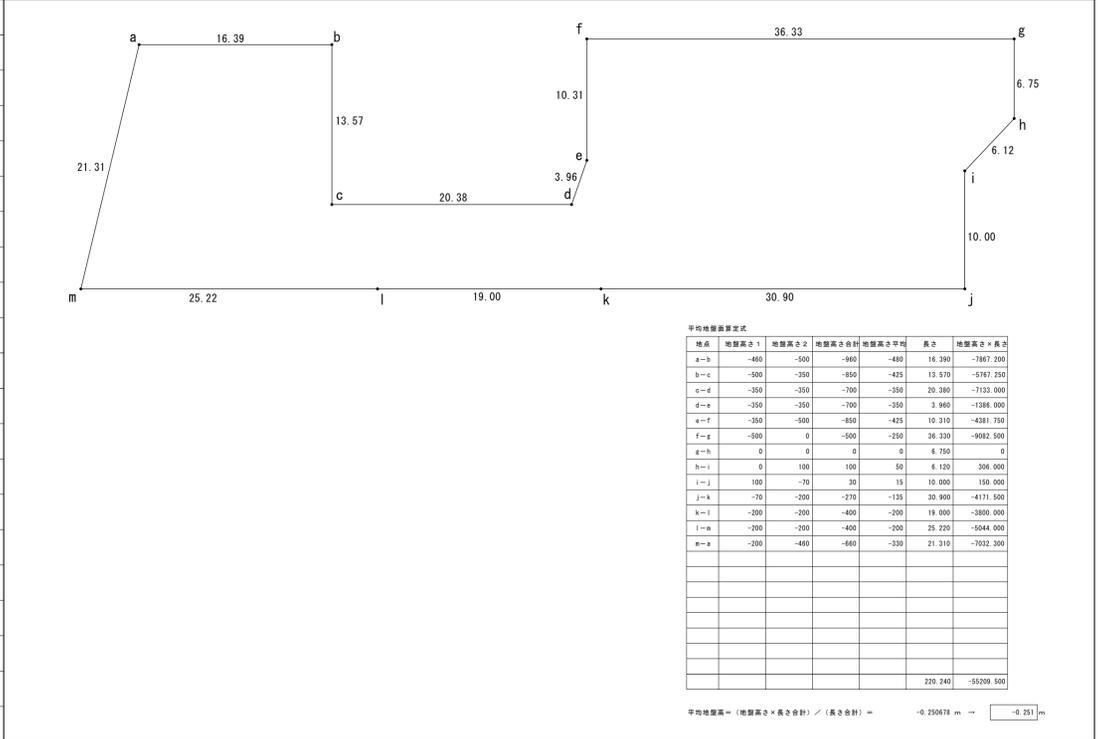
- 設計GLからの現況レベルを示す
- 設計GLからの計画レベルを示す (設計GL≠KBM-3B1)
- 設計GLからのデッキ下計画レベルを示す
- 平均地盤からの建物高さを示す
- 延焼の恐れのある部分 1階(3M)、2階(5M)

敷地内通路≧1.5m

工事名称	(仮称) 天王寺動物園教育普及関連及び休館施設建設工事	平成30年度
図面名称	案内図・工事概要・配置図	図面番号 002
大阪府都市整備局 公共建設部 企画設計課 (企画設計グループ)	相和技術研究所	設計者番号 2
		図面番号 85



敷地概要	
敷地面積	132,360.8 m ²
用途地域	第二種住居地域
区域区分	市街化区域
指定建ぺい率	80%
指定容積率	200%
防火地域	準防火地域
その他の地域	茶臼山風致地区
都市施設	天王寺公園（都市計画公園・緑地）
建物概要	
建築面積	1,421.91 m ² （既存 14,042.47m ² ）【合計 15,464.38m ² 建ぺい率 11.69%】
延床面積	1,394.51 m ² （既存 15,972.78m ² ）【合計 17,367.29m ² 容積率 13.13%】
階数	地上2階建て
高さ	最高高さ 8.071m
構造種別	鉄骨造
用途	集会場・展示場・飲食店・物販販売業を営む店舗 等
耐震安全性の分類	構造体：B種
	建築非構造部材：b種
	建築設備：b種



■一般事項

- すべての工事は設計図書に基づき施工し、疑義があるときは、本市監督職員と協議すること。
- 道路占用その他工事の施工に、必要な官公署その他の手続きは遅延なく行うとともに、これに要する費用並びに原型復旧は請負者の負担とする。
- 作業に先立ち設計図を熟読し不明な点については本市監督職員と打合せを行い、作業に支障なきよう努める。
- 請負業者はその責任において、工事による危険防止に努める。
- 廃棄物は、関係法令を厳守し適切に処理すること。尚、敷地内では一切の廃棄物を焼却してはならない。
- 工事車両は場内清掃を行い、万一公道を汚した場合は速やかに清掃すること。
- 工事着手前に先立ち、現場確認の上施工すること。
- 工事着手前に現場実測及び調査を行い、取合いなどの関係で設計図書によるものが困難または不都合な場合は本市監督職員と協議のこと。
- 工事に伴うガラ等の撤去材は速やかに場外処分すること。
- 工事施工に使用した進入通路、資材置場等の作業所内は現況に復旧して整地を行うこと。
- 本工程により破損を生じた箇所は既存に依り補修のこと。
- 足場は、転倒に十分注意して設置すること。
- 仮設工事をするにあたり、所轄官公署との打合せをすると共に、第三者への安全に十分配慮した仮設計画を行うこと。
- 開園時間の工事車両等の進入は不可とする。
- 開園日の資材の搬出入は9時30分以前に行うか、17時以降に行うこと。
- 作業時間は、原則として9時から17時30分とし、その他は施設管理者と協議の上、決定すること。
- イベント等により作業に制約が出る場合があるので、作業工程については事前に動物園担当者調整すること。
- 動物園内を工事車両が通行するときは徐行すること。また、その際には警備員を車両に並走させ安全に努めること。
- 作業者は必ず腕章を付けること。
- 基礎工事は地中埋設物に十分に注意を払い行うこと。
- 工事車両搬出入経路は工事前に道路舗装の写真を撮ること。
- 再利用する仮設材は、使用前に安全確認を行うこと。

凡例

- 設計GLからの現況レベルを示す
- 設計GLからの計画レベルを示す (設計GL±0=KBM+381)
- 設計GLからのデッキ下計画レベルを示す
- 平均地盤からの建物高さを示す
- 延焼の恐れのある部分 1階(3M)、2階(5M)
- 敷地内通路≥1.5m